

夏本番！暑熱対策に取り組みましょう！

養豚編

今年の夏は全国的に平年より気温が高くなる見込みです。
しかも、関東甲信地方では、例年よりも早い梅雨明けとなり、
長い長い夏になる可能性もあります。
適切な飼養管理で、家畜を暑さから守りましょう。



○豚舎の環境改善

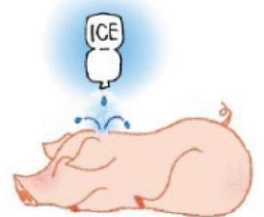
- 屋根や壁に白色ペンキや石灰を塗り、日光による気温上昇を抑える。
- 寒冷紗や緑のカーテンにより、直射日光を遮断する。
- 扇風機についた埃や蜘蛛の巣を取り除き、風量を回復させる。
- こまめな除糞で、発酵熱やアンモニアの発生を抑え、衛生害虫の発生を予防する。
- 畜舎周りの下草刈りや片付けをして、風通しを良くする。
- 風の通り道が一方向に流れるように窓の開け方を工夫する。

○豚への暑熱対策

- 適正な飼養密度を守り、体熱の放散を促進させる。
- ニップルから十分に水が出ているか、飲水装置の点検整備を実施する。
- 健康観察を徹底し、異状の早期発見に努める。

ペットボトルと氷水を活用した暑熱対策

- 手順① 2Lのペットボトルに8分目くらい水を入れて凍らせる。
(満タんだと破裂します。)
- 手順② 紐等で授乳母豚の首筋～肩の上に逆さにして吊す。
(母豚の届かない高さに吊します。)
- 手順③ 無くなったら取り替える。
(涼しくなるまで繰り返し実施しましょう。)



家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771(平日) FAX・・・0551-22-6728

土日・休日・夜間の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817